



February 20<sup>th</sup> 2018

# BGN UNESCO NEWS

Bunka Gakuen Nagano Jr. & Sr. High School No 7

## H29年度 中学・高校生徒会合同企画

「11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に！」 (カンボジアの場合)

戦争や貧困など、さまざまな理由で教育の機会に恵まれない子どもや大人のために「学びの場＝寺子屋」を世界に広げていくユネスコ世界寺子屋運動



## 「書きそんじハガキ・キャンペーン2018」



BGNユネスコスクール元年の2018年は・・・

### 文化学園長野中学・高等学校の総数

# 1206枚もの

## 書き損じはがきが集まりました！！

皆さんのおかげで約88人の子供たちが学校に行くことができます！！

ご協力、本当にありがとうございました。(中学・高校生徒会執行部より)

Thank you for your helping.

## 信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会 に参加しました

中部地方ESD活動支援センター (チームプロデューサー新海洋子さん)ご感想

日時:平成30年2月3日(土) 10:00~15:30

会場:信州大学教育学部大講義室(図書館2階)

主催:信州ESDコンソーシアム

文化学園長野中学・高等学校  
(ユネスコスクール本館増設)



ESD活動報告

小学校4校、中学校3校、高校3校 計10校のユネスコスクールの児童生徒が集まり、笑顔あふれる、子ども達の感性豊かな発表会だった。小学校1年生から高校生3年生が集まり、それぞれの年代、世代の、それぞれのESD授業、取組が話された。

小中学校では、「お米」「故郷 高山村と私」「地域自慢」「新しい技術」「障害者スポーツ」「松本城」「コカリナ」「ウサギのゲンキ(ぐるぐる大根)」「高山村の人、ゲンジボタル、わくわく村、わた、みそ、りんご」などの実践紹介。ESD教材は地域にあふれている。

高校では、「ガーナとトーゴでの経験」「信州中野商工会議所青年部(YEG)とのコラボ企画」「年間を通じたESD取組、生徒会、クラブでの取組」など。高校生になると活動内容、活動方法がさらに社会化、国際化していく。

どの授業、どの取組にも、「わたし」「あなた」「みんな」そして「地域」「社会」がちりばめられている。「動物は生きかえらない」「つづきはこれからつくりましょう」と小学1年生。「わからないことがわかるようになった」と小学4年生。「自分を阻むものを、どうやって超えられるか」と高校3年生。

オリジナルソングを交えた発表、クイズあり、ショートコントあり、英語のみのプレゼンテーションあり・・・発表方法の工夫も目を見張るものがあった。それぞれの年代の、それぞれの気づき、学びがあり、ESDの可能性を目の当たりにした。

講評をされた先生方からは、「村を知る学力から村を育てる学力へ」「人の思いや活動でつなぎ学んでいる」「思わずニコニコになる」「地域への誇り、人々への誇り、学んで自分達が伝えていく誇りがある」などのコメントがあった。

「私には未来をつくる力がある。」「私たちが持続可能な社会をつくる。」

私達大人の役割は、子ども達、ユースがもつ力をどう引き出すか、つなぐか、導くか、だと痛感した。

中部地域だけでも、こんなに素敵な授業実践がある。子ども、大人の学びや気づき、授業内容や授業方法を共有して、子ども達、ユース、教員も参加者も、みんなで「こんな未来にしたい」と語りあえる場づくりをしていきたい、と強く感じた報告・交流会だった。

【発表校】 山ノ内町立西小・山ノ内町立東小・山ノ内町立南小・高山村立高山小・高山村立高山中・山ノ内町立山ノ内中・信州大学附属松本中・長野県長野西高・長野県中野西高・文化学園長野中学・高等学校

英語のプレゼンでトリを務めた文化学園長野が、高評価を頂きました。私と地域と世界とそして「未来」へ

ユネスコスクール元年 あなたのESDを振り返る時期を迎えています